

自立活動学習指導案

海田町立海田西小学校

- 1 日 時 平成29年 12月14日(木) 第1校時
- 2 学 年 にこにこ学級 (自閉・情緒障害特別支援学級) 3名
- 3 場 所 海田西小学校 にこにこ学級教室
- 4 題材名 トーキングゲーム～自分の気持ちを伝えよう～
- 5 単元について

(1) 児童観

(略)

(2) 題材観

本題材は、特別支援学校小学部学習指導要領の自立活動の内容、「6コミュニケーション」の「(2) 言語の受容と表出に関する事」を指導内容とする。また、自立活動は週1時間あり、調理や運動など協力して活動する中でコミュニケーションスキルを身に付けることを期待している。

本題材のトーキングゲームは、話のテーマが書かれたカードを順番に引いて話をする事で話すスキルと聞くスキルを身に付けるゲームである。ルールは次の3つである。①聞く人は話が終わるまでしゃべらずに静かに聞く。(◎うなずく△質問する△急がせる△笑う)②順番にカードを引いて一人ずつ話をする。③話したくないカードは「パスカード」を使ってパスすることができる。このルールがあることで、児童は安心して自分の思いを話すことができる。

互いの話を聞き合う中で、話し方のよいところを見つけてまねをしたり、「自分の言葉で思いを伝えられた。」「最後まで話を聞いてもらえた。」という経験を重ねたりすることで自信をもつことができ、生活の中でも家族や友達、先生と話をしようとする意欲を高めることにつながると考える。

(3) 指導観

指導に当たっては、次の工夫を行う。

- ルール、話し方、カード置き場、ほかほか言葉などを示したシートを使い、一人一人が主体的に活動できるようにする。
- 西っ子発表スタイルの話型をもとにした聞き方・話し方を個別シートに書いておく。
・「わたしの〇〇は、～です。」「わけは、～だからです。」「くわしくいうと～。」
- 個の実態に合っためあてをもたせ、適切な指導・支援により「できた」「やった」という達成感を得ることで自己肯定感を高めたい。「話を聞いてもらえて嬉しい。」「話をする事は楽しい。」と実感させることで、日常生活への般化へつなげていきたい。
- 教師もゲームに参加し、モデルを示す。笑顔で話を聞いたり、うなずきながら聞いたりすることで安心して話ができる雰囲気をつくる。

6 題材の目標

- トーキングゲームを楽しみながら、相手の話を聞いたり、自分の思いを伝えたりすることができる。

7 題材の評価規準

A 児	友達の話を楽しんで聞き、自分の言葉で話することができる。
B 児	友達の話最後まで聞いて、自分の思いを話すことができる。
C 児	友達の話に興味をもって聞き、自分の思いや様子を詳しく話すことができる。

8 本題材において育成したい資質・能力

本校で育成したい資質・能力は、①課題発見・解決力 ②主体性 ③チャレンジ精神 ④自らへの自信の4つである。そのうち、本単元で重点的に指導したい資質・能力は次の2つである。

育成したい資質・能力	本単元の学習を通して目指す姿
主体性	ゲームを楽しみながら、話を聞いたり、思いを話したりしている。
自らへの自信	話を聞いてもらえる喜びや、思いを伝える楽しさを感じている。

9 題材の学習指導計画（全4時間）

時	学習内容	評価
		(・) 評価規準 (評価方法) (★) 資質・能力の評価 (評価方法)
1	課題設定 ○トーキングゲームに関心をもつ。 ○学習計画を立てる。	・ルールを理解しながら基本のトーキングゲームを楽しんでいる。(行動観察・発言) ★トーキングゲームに関心をもち、楽しんでゲームをしている。(行動観察・発言)
2	情報収集・整理分析 ○ゲームをしながら、ルールと話し方のポイントを整理する。	・自分の表現と友達表現と比べて、分かりやすく楽しい表現を考えて伝え合うことができる。(発言)
3	まとめ・創造・表現 ○自分たちでオリジナルのトーキングカードを作る。	・前回までのゲームを思い出しながら、話したいテーマのカードを作ることができる。(カード)
4 本 時	○オリジナルカードも加えてトーキングゲームを楽しむ。 振り返り ○活動を振り返り自己評価を行う。	・ルールを守って、トーキングゲームを楽しむことができる。(行動観察・発言) ★話ができた喜びを感じている。(表情・ワークシート) ★「深い学び」を実現した児童・生徒の具体 初めは少し緊張したけど、だんだん上手に話せて楽しくなりました。○○さんの話がよく分かって楽しかったです。話を最後まで聞いてもらったのが嬉しかったです。いろいろな友達や先生とも話したいです。

10 本時の学習

(1) 本時の目標

A児	カードの内容をほぼ理解し、自分の言葉で話をするができる。
B児	ルールを守って、話を聞いたり自分の思いを伝えたりすることができる。
C児	ゲームを楽しみ、友達のよさを見つけて伝えることができる。

(2) 本時の評価規準

A児	カードを読んで、自分の言葉で話をする。
B児	話を最後まで聞いて、自分の思いを話す。
C児	話を楽しんで聞き、友達の話し方のよいところを伝える。

(3) 準備物

トーキングゲームカード、カード置きシート、個別シート、表現ポイント表、ワークシート

(4) 本時の展開

過程	学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する状況」と判断した児童への指導の手立て)	評価規準 (○) 教科の指導事項 (★) 資質・能力 (評価方法)
導入	1 前時の学習を振り返る。	◇ゲームのルールと表現のポイントを短い言葉で表にまとめておく。	
展開	2 本時のめあてを確認する。	◇表をもとに、個別のめあてをもたせるようにする。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ルールを守って、トーキングゲームを楽しもう。</div> <p>3 活動を確認する。</p> <p>4 ゲームをする。 (1)</p> <p>5 アドバイスをする。</p>	<p>◇シートに書いているルールを確認する。</p> <p>◇行動の順番を提示することで、見通しをもてるようにする。</p> <p>◇主体的に活動できるように、ルールや話し方等を示したシートを使う。</p> <p>◆カードの内容と話がずれているときは最後まで話を聞いて評価した後、意図が合うように話を確かめる。</p> <p>◆聞く態度を評価し意欲を高める。</p> <p>◆ポイント表を見ながら、アドバイスをするように促す。</p>	<p>○ルールを守って、トーキングゲームを楽しむことができる。</p> <p>(行動観察・発言)</p> <p>A: カードを読んで、自分の言葉で話をする。</p> <p>B: 話を最後まで聞いて、自分の思いを話す。</p> <p>C: 話を楽しんで聞き、友達の話し方のよいところを伝える。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">協働場面での児童生徒の言葉</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・カードを見て、お話が上手にできてうれしかったです。 ・友達の話がしっかり聞けました。〇〇さんの〇〇の話が楽しかったです。 ・〇〇さんの話はくわしくてよく分かりました。 </div>		

展開	6 ゲームをする。 (2)	◇これまでのゲームと比べて評価をし、聞き方・話し方の上達を実感させる。	
まとめ	7 ワークシートに振り返りを書いて発表する。	◇ふりかえりの話型を示し視点を明確にする。 ◇友達のよいところを書いている児童を評価し、進んでよいところを伝え合えるようにする。 ◆教師と対話をしながら、短い言葉で振り返りを書く。	★話のできた喜びを感じている。 (表情・ワークシート)
<p>2回目の方がうまく話せたので嬉しかったです。 めあては達成しました。友達の話を最後までしずかに聞けたからです。 〇〇さんの～の話を聞いて、上手になったなと思いました。</p>			

1.1 板書計画

トーキングゲーム

めあて ルールをまもって トーキングゲームを楽しもう。

かつどう

1 めあて

2 ゲーム (1)

3 アドバイス

4 ゲーム (2)

5 ふりかえり

6 まとめ

「ルール」

- ・静かに最後まで聞く。(◎うなすく)
- ・カードをひいて順番に話す。パスできる。

(個人のめあて・顔写真)

A

B

C

まとめ・ふりかえり

◎

◎

◎

「聞く」

「話す」

すごい！いいね

次はこうしたい！

自分のめあては～

友達の～